

# 目 次

I	平成17年度の博物館運営	
■	事業の概要 ● 日誌抄	3
■	統計資料 ● 予算・決算 ● 月別入館者数 ● 各事業参加者数 ● 博物館利用者数	4
■	出版活動 ● 出版物 ● 図書販売実績	5
■	施設管理 ● 第2展示室利用状況	6
II	展示公開事業	
■	企画展「流山市の歩みと未来」	7
■	企画展「流山市の歩みと未来」関連事業	8
■	企画展「ちょっと昔の暮らし」	9
■	企画展「流山の民話原画展とおはなし会」	11
III	教育普及事業	
■	ふるさと入門講座「考古学コース」 ■ ふるさと入門講座「石仏コース」	12
■	ふるさと入門講座「流山今は昔コース」	13
■	博物館子ども教室	14
■	博物館実務実習生の受入れ ■ 講師派遣	15
IV	調査研究事業	
■	企画展事前調査「流山市の歩みと未来」	16
■	企画展事前調査「ちょっと昔の暮らし」	16
■	企画展事前調査「吉野誠に関する調査研究」	16
■	企画展事前調査「電化製品の受容」	16
V	市史編さん事業	
■	市史編さん活動 ■ 教育普及事業	17
■	調査研究事業	20
VI	収集保管事業	
■	新収蔵資料	21
■	二次資料 ■ 資料の館外貸出	22
■	資料の撮影・転載許可	23
VII	流山市立博物館のあらまし	
■	設置の目的 ■ 沿革	24
■	施設概要	26
■	設備概要	27
■	平成17年度博物館組織 ■ 流山市立博物館協議会委員	28
■	流山市史編さん審議会委員 ■ 職員(平成17年度) ■ 臨時職員	29
VIII	一茶双樹記念館利用状況	
■	一茶双樹記念館入館者数	30
IX	杜のアトリエ黎明利用状況	
■	杜のアトリエ黎明利用状況	31
X	博物館友の会活動状況	32

# I 平成17年度の博物館運営

## ■ 事業の概要

第1回企画展では、市制施行40周年記念事業の一環として「醸造のまち、流山 一酒・みりん・醤油・味噌」を開催した。

第2回企画展では、昨年度にひきつづき「ちょっと昔の暮らし」を開催した。これは小学校4年生の社会科単元「きょうどにつたわるねがい」で、100年くらい前から現在に至るまでの道具や暮らしの移り変わりを学習するのに対応した展示である。

ミニ企画展として、博物館収蔵資料より「ながれやまの民話原画展&おはなし会」等を開催した。

教育普及事業では、ふるさと入門講座として3コース「考古学コース」・「石仏コース」・「流山今は昔コース」を実施し、さらに、学校週5日制に伴う余暇利用の一貫として「博物館子ども教室」（茶道教室・絵画教室・アングインづくり等）を開催した。また、博物館案内パンフレットを発行し、催し物スケジュールを掲載した。

収集保管事業では、市民から民俗資料等23件383点の寄贈を受け入れた。

調査研究事業では、当該年度の企画展の調査をはじめ、吉野誠に関する調査を引き続き実施した。

市史編さん活動事業では、市内史跡巡り・古文書講座などを実施したほか、「流山市史研究 第19号」を刊行した。

## ● 日誌抄

4月1日	ミニ企画展「博物館ミニヨン展」子ども絵画教室作品 ～(7/10)	9月25日	「石仏コース」(全4回)
4月23日	子ども教室「茶道教室、絵画教室等」(全12回)	9月30日	消防訓練
5月7日	市内史跡巡り	10月1日	第2回企画展「ちょっと昔の暮らし」～(11/26)
5月14日	古文書講座(全14回)	11月26日	市内史跡巡り
6月5日	「考古学コース」(全4回)	12月4日	小林一茶まつり
7月5日	市史編さん審議会開催	1月5日	収蔵資料展「流山の民話」 原画展&おはなし会 ～(2/19)
7月16日	第1回企画展「流山市の歩みと未来」～(9/18)	1月29日	「流山今は昔コース」 (全4回)
7月28日			
9月3日	企画展関連事業「トーク&トーク 語ろう伝えよう流山市の歩み」		

## ■ 統計資料

### ● 予算・決算

(単位：円)

事業名	予算額	事業名	予算額
	決算額		決算額
博物館事務管理事業	2,298,000	杜のアトリエ黎明維持 管理事業	3,958,000
	2,193,965		3,845,234
博物館活動事業	11,386,000	市史編さん活動事業	1,280,000
	9,548,181		1,099,992
博物館施設管理事業	13,709,000	流山市史年鑑刊行事業	917,000
	10,795,386		948,839
一茶双樹記念館 維持管理事業	7,622,000	一茶双樹記念館 改修事業	3,200,000
	7,577,894		2,997,750
※職員の人件費は上記予算に含まない。		合 計	44,370,000
			39,007,241

### ● 月別入館者数

区分 月	個 人	団 体		計
		入館者数	団体数	
4月	1,558人	197人	3団体	1,755人
5月	1,609人	423人	6団体	2,032人
6月	1,381人	173人	4団体	1,554人
7月	2,764人	20人	1団体	2,784人
8月	2,938人	0人	0団体	2,938人
9月	2,295人	144人	3団体	2,439人
10月	2,746人	455人	8団体	3,201人
11月	1,941人	481人	9団体	2,422人
12月	2,026人	50人	2団体	2,076人
1月	1,443人	96人	2団体	1,539人
2月	1,715人	63人	2団体	1,778人
3月	1,462人	0人	0団体	1,462人
合計	23,878人	2,102人	40団体	25,980人

### ● 各事業参加者数

- 企画展関連講演会「日本の味、醸造の歴史」 41人
- ふるさと入門講座「考古学コース」 157人
- ふるさと入門講座「石仏コース」 141人
- ふるさと入門講座「流山今は昔コース」 201人
- 博物館子ども教室 全12回 243人

### ● 博物館利用者数

26,763人

## ■ 出版活動

### ●出版物

名 称	判	頁	部数
『流山市立博物館年報 No.27』	A4	30	350
調査研究報告書23 『博物館でタイム・トリップ』	A4	74	700

### ●図書販売実績

書 名	頒価	販売数	書 名	頒価	販売数
4 流山の絵馬と額	1,260	5	流山市史研究 第5号	1,260	1
5 流山の石仏	1,890	—	流山市史研究 第6号	1,150	3
6 流山の職人	1,470	5	流山市史研究 第7号	1,260	1
7 流山の農業	840	1	流山市史研究 第8号	1,150	—
8 流山の講	1,360	7	流山市史研究 第9号	1,150	1
9 流山の衣生活	1,050	1	流山市史研究 第10号	1,260	4
10 河川と流山	1,360	10	流山市史研究 第11号	1,150	1
11 流山の屋敷神	1,470	1	流山市史研究 第12号	1,050	—
12 流山の道	1,260	9	流山市史研究 第13号	1,050	2
13 流山糧秣廠	1,050	7	流山市史研究 第14号	1,050	2
16 不思議	1,360	1	流山市史研究 第15号	1,050	2
17 下総のはにわ	520	9	流山市史研究 第16号	730	2
18 流山と自転車	580	3	流山市史研究 第17号	500	2
19 中野久木谷頭遺跡	900	8	流山市史研究 第18号	500	10
20 吉野誠の世界	600	7	流山市史研究 第19号	320	69
21 流山の醸造業Ⅰ【資料編】	1,260	51	流山市史 八木村誌	4,200	—
22 流山の醸造業Ⅱ【本文編】	1,150	92	流山市史 流山町誌	4,200	—
23 博物館でタイム・トリップ	710	16	流山市史 新川村文書	4,200	—
聞き書き 流山の野菜作り	340	16	流山市史 利根運河	5,250	—
常設展示図録	560	49	流山市史 近世資料編Ⅰ	5,250	—
展示図録(第2集)	520	—	流山市史 近世資料編Ⅱ	5,250	—
館蔵品図録	1,050	—	流山市史 近世資料編Ⅲ	6,300	—
館蔵品図録Ⅱ	1,050	—	流山市史 近世資料編Ⅳ	6,300	—
流山のむかし	500	99	流山市史 近世資料編Ⅴ	6,300	—
流山市文化財マップ	300	30	流山市史 近世資料編Ⅵ	4,720	1
笹岡一人と画業の軌跡	730	1	流山市史 植物編	4,200	—
テレホンカード	800	5	流山市史 民俗編	6,300	3
メモパッド	100	200	流山市史 文化財編	4,200	—
流山市史研究 第3号	1,050	—	流山市史 通史編Ⅰ	2,620	10
流山市史研究 第4号	1,150	2	流山市史 通史編Ⅱ	2,500	33

## ■ 施設管理

### ● 第2展示室利用状況

企画展等で利用していない時は、市民の芸術活動を支援するため、無料で市民に貸出しをしている。利用状況は下表のとおりである。

利用期間	申請者(主催)	利用内容	入館者数
4月1日～7月10日	流山市立博物館	博物館ミニヨン展 ～子ども絵画教室～	6,038人
7月16日～9月19日	流山市立博物館	第1回 企画展	6,472人
10月1日～11月27日	流山市立博物館	第2回 企画展	5,532人
12月4日～12月18日	流山市合唱連盟	10年の歩み展	1,186人
1月5日～2月19日	流山市立博物館	新春特別公開 「源氏物語屏風と 戌・犬・イヌ」展	2,673人
2月21日～2月26日	流山の風景を描く会	油絵・水彩画展	644人
3月4日～3月30日	掘り出された流山 発掘情報2006	生涯学習課	1,151人
合計			23,696人

## Ⅱ 展示公開事業

### ■ 企画展 「醸造のまち、流山 ―酒・みりん・醤油・味噌―」

開催期間＝平成17年7月16日（土）～平成17年9月19日（月）

観覧者数＝6,472人

#### 開催趣旨

流山といえば「みりん」、「みりん」といえば流山、と江戸時代後期から現在もみりんは流山の特産品である。

企画展では、みりんをはじめ流山での酒や醤油・味噌の醸造業の歴史を往時を物語る資料を通して紹介し、流山を知る一助とした。

## ■ 企画展「醸造のまち、流山」関連事業

企画展「醸造のまち、流山 一酒・みりん・醤油・味噌」にかかわる展示資料や醸造の歴史をより深く理解してもらうため、企画展講演会を実施した。

### 【講演会】

演 題 日本のお味、醸造の歴史  
講 師 田中 則雄 流山市立博物館友の会会員

実施日 9月18日（日）  
場 所 流山市中央図書館会議室  
内 容 1. 日本のお味  
2. 醸造業  
3. 発酵と「うま味」  
4. 醬（ひしお）と醤油

参加者 41名

## ■ 企画展 「ちょっと昔の暮らし」

開催期間＝平成17年10月1日（土）～平成17年11月27日（日）  
観覧者数＝5,532人

### 開催趣旨

小学校4年生は社会科単元「きょうどに  
ったわるねがい」で、100年くらい前からの  
生活の移り変わりを学習をする。

当館では、この時期に100年くらい前の  
民具や写真を展示し、学習の手助けができ  
ればと考え、企画展「ちょっと昔の暮らし」  
を開催している。毎年少しずつ構成や資料  
を替え、今回が5回目である。この企画展  
には、市内外の小学生が団体で来館し、昔  
の民具の見学や体験などを通じ学習をして  
いる。

また、市民には流山市の100年くらい前  
からの歴史を理解する一助とした。



## 展示概要と主な展示資料

教科書にあわせた展示構成とした。また、企画展にあわせて、常設展示部分に子ども向きの解説をつけて、郷土の歴史についても理解を深めることを目指した。

※（ ）はコーナー別の展示点数・内容

1. 昔の暮らし（79点）  
教科書の挿画に見える民具を衣食住に大別して展示した。  
(柳ごおり・くけ台・箱ぜん・水がめ・足付ぜん・車井戸・陶製湯たんぼ・きせる・火消しつぼなど)
2. 昔の道具にふれる（22点）  
「ちょっと昔の暮らし」に思いをはせる導入の場。今回は昔の道具を使ってみたり、昔のおモチャで遊んでもらうようにした。  
(ふいご・手桶・手回し式小形計算機・洗濯機・万華鏡・剣玉・お手玉など)
3. 身のまわりの古い道具（37点）  
100年程前から今に至るまで、その時々  
の生活を支え、彩った道具を展示した。  
  
(綿繰り・ハエとり機・カルメ焼き器  
夏季学習帳・明治時代の教科書・経木  
電気洗濯機・テレビ・電気炊飯器  
謄写版の道具など)
4. 「見る・聞く・考える」（87点）  
ちょっと昔から今に至るまでの変化を  
子どもたちが追体験するため展示した。  
(貨幣・学校給食レプリカ)

## ■ ミニ企画展

### ● 戦後60周年ミニ展

開催期間＝平成17年8月17日（水）～平成17年8月23日（火）

主催＝流山市・流山市教育委員会（博物館）

#### 開催趣旨

平成17年2月16日、旧流山橋周辺の江戸川から、機関銃や銃剣などが引き揚げられた。新聞報道によると、旧陸軍の武器類とのことである。戦後60年の本年、引き揚げられ、博物館に譲渡された武器などを展示し、流山を知る一助とした。

### ● つくばエクスプレス開業～流山の輝く未来を願って～

開催期間＝平成17年8月17日（水）～平成17年8月30日（火）

主催＝流山市立図書館・流山市立博物館

#### 開催趣旨

つくばエクスプレスの開業にちなみ、流山の交通の歴史に関する資料や図書等を展示し、市民とともに新線の開通を祝った。

### ● 新春特別公開「源氏物語と戌・犬・イヌ」展

開催期間＝平成18年1月15日（木）～平成18年2月19日（日）

主催＝流山市教育委員会（博物館）

#### 開催趣旨

新春にあたり、博物館で所蔵している屏風や、戌年に因んだ資料を展示し、広く市民に公開した。

### Ⅲ 教育普及事業

#### ■ ふるさと入門講座「考古学コース」

江戸時代の考古学の成果を学び、地域の歴史を学ぶ方法や、生涯学習の楽しみを知ってもらう目的で開催した。(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参 加 者 数
1	6月5日(日)	両角まり (豊島区遺跡調査会)	女性研究者の眼1 「江戸の土器」	43人
2	6月26日(日)	阿部百里子 (昭和女子大学)	女性研究者の眼2 「ベトナム考古学の成 果から見る日越の交流」	41人
3	7月3日(日)	水本和美 (新宿歴史博物館)	女性研究者の眼3 「江戸のデザイン」	40人
4	7月17日(日)	安芸毬子 (東京大学 埋蔵文化財調査室)	女性研究者の眼4 「出土資料から見る江 戸の遊び」	33人

#### ■ ふるさと入門講座「石仏コース」

石仏について学び、石仏をとおして地域の歴史や、地域の歴史を学ぶ方法、生涯学習の楽しみを知ってもらう目的で開催した。(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参 加 者 数
1	9月25日(日)	石神 裕之 (日本学術振興会 特別研究員)	石仏の世界と その魅力	45人
2	10月9日(日)	同 上	石仏・石塔の 種類とその見方	35人
3	10月23日(日)	同 上	石仏の研究法1 (庚申塔)	31人
4	11月6日(日)	同 上	石仏の研究法2 (その他の石仏)	30人

## ■ ふるさと入門講座「流山今は昔コース」

流山にかかわる人々の「過ぎし日の暮らし」を掘り起こし、記録することを目的に、地域史の研究者による講義を受け、流山の来し方について考察する契機となることをめざして開催した。(敬称略)

回	期 日	講 師	演 題	参 加 者 数
1	1月29日(日)	伊 東 成 郎 (新選組研究家)	新選組とは 何だったのか	55人
2	2月12日(日)	同 上	近藤勇と新選組、京都 久留米藩邸に出没す	54人
3	2月26日(日)	青 木 更 吉 (地域史研究家)	近藤、土方訣別の時	47人
4	3月12日(土)	廣 瀬 早 苗	新選組流山屯集 「本陣」についての一考察	45人

## ■ 博物館子ども教室

学校週5日制に対応するため、市内在住の小中学生を対象として、「茶道教室」「絵画教室」「アンギンづくり」等を毎月1回実施した。

回	期 日	講 師	内 容	参加者数
1	4月23日(土)	博物館職員	絵画教室	27人
2	5月22日(日)	博物館職員	勾玉づくり	25人
3	6月25日(土)	博物館職員	団扇づくり	17人
4	7月23日(土)	博物館職員	江戸川の魚	20人
5	8月20日(土)	博物館職員	絵画教室	25人
6	9月17日(土)	流山市茶道親和会	茶道教室	9人
7	10月10日(月)	博物館職員	アンギンづくり	18人
8	11月19日(土)	博物館職員	絵画教室	22人
9	12月10日(土)	お茶を楽しむ会 代表 近藤美知絵	茶道教室	18人
10	1月22日(日)	博物館職員	勾玉づくり	20人
11	2月18日(土)	博物館職員	絵画教室	26人
12	3月19日(日)	博物館職員	アンギンづくり	16人

## ■ 博物館実務実習生の受入れ

平成17年度の博物館実習生は、8月24日から9月1日までの6日間、10校の大学から10名の実習生を受け入れた。

### 博物館実務実習日程表

期 日	実 習 内 容
8月24日	ガイダンス、博物館活動概説、館内案内 博物館資料の受け入れと登録、資料の登録作業（土器）
8月25日	資料の登録作業（民具クリーニング）
8月26日	調査研究の補助（石仏調査）
8月30日	教育普及活動準備（アンギン）
8月31日	展示室清掃、ライト点検、温湿度計の用紙替え、 ポスター貼り替え、水槽清掃
9月 1日	流山の歴史について、市内史跡巡り

### 博物館実務実習生一覧

	大 学 名	学 部 名	学 年	性 別	居 住 地
1	目白大学	人文学部	4	女	三郷市
2	東京女子大学	文理学部	4	女	流山市
3	専修大学	文学研究科	修士課程2年	男	流山市
4	立教大学	文学部	3	女	流山市
5	日本女子大学	文学部	博士課程前期	女	流山市
6	国士舘大学	文学部	3	男	流山市
7	昭和女子大学	文学部	4	女	流山市
8	江戸川大学	社会学部	3	女	足立区
9	明星大学	日本文化学部	4	男	流山市
10	川村学園大学	人間文化学部	3	女	流山市

## ■ 講師派遣

各小学校からの要請により、職員を講師として派遣した。

実 施 日	内 容	派 遣 先
9月22日	昔の人々の暮らし	市立東小学校（4年生）
9月30日	昔の暮らし	市立向小金小学校（4年生）
10月7日	昔の暮らし	市立西深井小学校（4年生）
11月1日	東深井の古墳・埴輪 ・土器について	市立東深井小学校（5年生）

## IV 調査研究事業

### ■ 企画展事前調査「醸造のまち、流山 ー酒・みりん・醤油・味噌ー」

平成17年度第1回企画展の開催に向けて資料の調査研究を行い、企画展の充実を図った。

### ■ 企画展事前調査「ちょっと昔の暮らし」

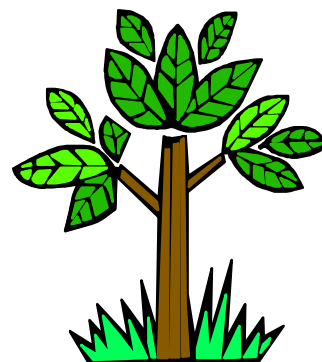
平成17年度第2回企画展「ちょっと昔の暮らし」の開催に向け、100年くらい前からの民具や玩具を対象として調査研究を行い、企画展の充実を図った。

### ■ 企画展事前調査「吉野誠に関する調査研究」

乾板情報のデジタル化作業とともに、吉野誠に関する調査研究を行った。

### ■ 企画展事前調査「電化製品の受容」

流山市立博物館ボランティア「聞き書きの会」のメンバーとともに、報告書の刊行に向けて、調査研究を行った。



## V 市史編さん事業

### ■ 市史編さん活動

#### ●『流山市史研究 第19号』の刊行

体裁 A5判 73ページ

内容 平成16年度に実施した新選組研究論文大会で最優秀賞、優秀賞に選ばれた3点の論文を収録。収録内容は、「近藤勇と新選組、京都久留米藩邸に出没す」「近藤・土方訣別の時」「新選組流山屯集『本陣』についての一考察」

#### ●市史編さん審議会の開催

市史編さん事業の推進にあたり、市史編さん事業に対する要望や意見を広く求め、その方向性を検討するため市史編さん審議会を平成17年7月5日（火）に実施した。

平成17年度事業の中間報告を行うとともに、市史編さん体制さらには流山市史研究の今後のあり方についての意見が出された。

### ■ 教育普及事業

市史編さん事業を周知啓蒙するため下記の事業を実施した。

#### ●「市内史跡巡り」全2回

市民を対象に市内史跡を探訪して流山の歴史について考察するとともに、歴史に関する知識の高揚を図った。

第2回は3か所の中世城郭を訪ねるコースで実施した。

回	期 日	見 学 先	講 師	参加者数
1	5月7日(土)	今上落・江戸川～旧流山市街 ～浅間神社～常与寺～閻魔堂 ～近藤勇陣屋跡～赤城神社 ～光明院～一茶双樹記念館(解散)	博物館職員	22人
2	11月26日(土)	東部公民館～広寿寺～清瀧院 ～前ヶ崎城址～小金城址(解散)	博物館職員	12人



●「古文書講座」全14回

初心者を対象とし、古文書の解読及び活用、保存についてその基礎を習得する講座である。

講座は第1回から第6回までを前期とし、古文書の基礎知識・村方文書・寺方文書について博物館職員が講師にあたり、第7回以降を後期として外部講師による中世文書で構成し、内容の充実に留意した。

(敬称略)

回	期 日	場 所	内 容	講 師	参加者数
1	5月14日(土)	中央図書館会議室	基礎知識 古文書を取り巻く環境	博物館職員	35人
2	5月28日(土)	中央図書館会議室	基礎知識 古文書用語及び書肆	博物館職員	39人
3	6月11日(土)	中央図書館会議室	近代文書	博物館職員	35人
4	6月23日(木)	千葉県部所管	千葉県公文書・行政資料	—	17人
5	7月9日(土)	中央図書館会議室	近代文書 糧秣廠関係文書	博物館職員	31人
6	7月22日(金)	防衛研究所	旧陸海軍関係文書の検索	—	14人
7	8月6日(土)	中央図書館会議室	寺方文書 清瀧院文書	博物館職員	29人
8	8月24日(水)	国立史料館	大名文書	—	16人
9	9月3日(土)	中央図書館会議室	寺方文書 清瀧院文書	博物館職員	26人
10	9月22日(木)	板橋区図書館	区史編さん史料の保存	—	15人
11	10月22日(土)	中央図書館会議室	保存措置	横山 謙次	25人
12	10月29日(土)	中央図書館会議室	流山の近代教育	安蒜 徹	26人
13	11月12日(土)	中央図書館会議室	村方文書の解読演習	松丸 明弘	19人
14	11月19日(土)	中央図書館会議室	村方文書の解読演習	松丸 明弘	19人

●「講師派遣」

市民を中心とした史跡同好会や研究グループ及び県内博物館等に対し、博物館職員を講師として派遣して流山の歴史及び市史編さん事業を周知した。

回	期 日	派 遣 先	内 容	参加者数
1	5月19日(木)	流山市ゆうゆう大学	流山発掘よもやま話	58人
2	5月24日(火)	千葉県高等学校教育研究会地理部会	市内史跡巡り (流山市中心部の町並み)	38人
3	9月13日(火)	浅間台生涯大学 ウォーキング同好会	市内史跡巡り(旧流山市街)	17人
4	10月27日(木)	流山市ゆうゆう大学	講義(流山の歴史)	55人
5	11月20日(日)	大網白里町 郷土研究会	市内史跡巡り(旧流山市街)	15人
6	11月27日(日)	流山市シルバー人材 センター互助会	市内史跡巡り(旧流山市街)	15人

## ■ 調査研究事業

### ●文献史料の公開準備

博物館で収集・保管している文献史料を web 上に公開する準備として、史料のデータベース化を進めた。

作業内容としては、長期にわたり作成されたため、その作成時期により違いの生じている史料目録の項目を統一化して整理した。

また、公開画像は収録済みのマイクロフィルムデータを前提としているため、収蔵している約 400 本のフィルムを目録化した。

なお、web 公開については、画像のデジタル化及び解読文のテキスト化等の作業が必要となる他、県内他町村との公開様式統一の課題が残るが、県内の公開決定時に即対応できるように作業を進めている。

## VI 収集保管事業

### ■ 新収蔵資料

#### 受贈資料一覧

No.	受入日	資 料 名	点数	寄贈者名(敬称略)
1	4.22	石器・土器片	3	深港 善英 (流山市)
2	5.31	竹こおり・お膳・金盃・勲章他	21	大塚 愛子 (流山市)
3	6.18	沖縄戦記・郵政貯金簿・印鑑	3	伊藤 博 (流山市)
4	6.22	煙草盆	3	椎橋 俊恭 (流山市)
5	7.1	埴輪片	一式	金指 豊子 (東京都)
6	7.8	ワープロ	1	檜山 孝子 (流山市)
7	7.27	五百円札 (岩倉具視)	1	遠山 仁恵 (流山市)
8	8.1	埴輪	一式	小峯 幸子 (東京都)
9	8.3	シュロ製ハエタタキ・シュロ縄	2	鈴木 よし (流山市)
10	8.9	土偶	1	永田 文江 (流山市)
11	8.16	通信簿・免許状・辞令・写真他	186	熊坂 牧子 (流山市)
12	8.24	太子様の掛軸・感謝状・領収書他	32	渡部 亘 (流山市)
13	10.13	卒業証書	1	須藤 智之 (流山市)
14	10.19	盃・手ぬぐい・文箱・扇子他	58	大塚 愛子 (流山市)
15	11.15	金属製の箱	1	菅谷 孝之 (柏市)
16	11.29	東芝製トースター	1	山下 敏江 (流山市)
17	12.6	ポット・裁ち板・アイロン台	5	秋元 由美子 (流山市)
18	1.6	古文書	21	小谷 光正 (流山市)
19	2.10	オクルミ・シタギ・五月人形	4	沢井 忠夫 (流山市)
20	2.11	旧日本陸軍の石標	1	東葛飾地域整備センター 柏整備事務所 維持管理課
21	3.2	手拭い	3	流山北小学校地区 ボランティアグループ
22	3.15	録音機・ダブルラジカセ	2	流山市教育委員会 スポーツ振興課
23	4.5	航空写真パネル	1	流山市役所 都市計画課

計 23 件 383 点

## ■ 二次資料

購入図書 31冊

受贈図書類 755点 (図書745 CD-ROM6 DVD2 VHS2)

受贈機関 255か所

## ■ 資料の館外貸出し

博物館資料館外貸出状況

No.	貸出期間	資料名称	点数	貸出先	事由
1	4. 1 ~ 3. 31	坂本 直画 「加岸の家」	1	水道局	展示
2	4. 13 ~ 6. 30	弁当箱・小田原提灯・携 帯用枕	3	成田山霊光館	展示
3	5. 1 ~ 4. 30	秋元松子画 「枯れた花」 「残花」 「花に寄せて」	3	図書館 (北部地域図書館)	展示
4	5. 19 ~ 5. 20	西初石桜窪遺跡出土縄 文式土器他	10	江戸川台小学校	教材
5	9. 26 ~ 11. 20	鉛メンコ・紙メンコ・ブ リキ製玩具・レコード盤	100	千葉県立房総のむら	展示
6	10. 7 ~ 12. 16	中野久木谷頭遺跡出土 土器	5	船橋市飛ノ台史跡公園 博物館	展示
7	10. 26 ~ 11. 11	鉄製かま・釜のふた・鉄 鍋・鍋ふた・圧力釜・ガ ス釜	6	生涯学習課	展示

## ■ 資料の撮影・転載許可

博物館資料撮影・転載許可

(敬称略)

No.	許可日	資料名称	点数	申請者	事由
1	4. 22	柳澤家文書・山中金三氏写真	4	日本テレビ放送網(株)	撮影
2	5. 4	江戸川の写真	5	東葛地域自然文化研究所 新保 國弘	撮影 掲載
3	6. 1	吉野誠氏撮影写真 (プリント版)	36	松戸市戸定歴史館	撮影 掲載
4	7. 29	「懐かしの流山一写真に見る 日々の暮らし」・「よみがえ る乾板写真 吉野誠の世界」 撮影写真	87	(株)郷土出版社	撮影 掲載
5	8. 17	「中野久木谷頭遺跡」カラー ポジフィルム	5	船橋市飛ノ台史跡公園博 物館	撮影 掲載
6	8. 31	桐ヶ谷新田遺跡旧石器時代資 料	一括	五十嵐 修	閲覧 撮影
7	9. 30	東深井古墳郡12号・13号 墳出土人物埴輪	3	城倉 正祥	撮影 掲載
8	12. 1	写真集利根川高瀬舟	2	日本工営(株)	撮影 掲載
9	12. 13	博物館・一茶双樹記念館	VTR	江戸川大学 桑山 清隆	撮影

## Ⅶ 流山市立博物館のあらまし

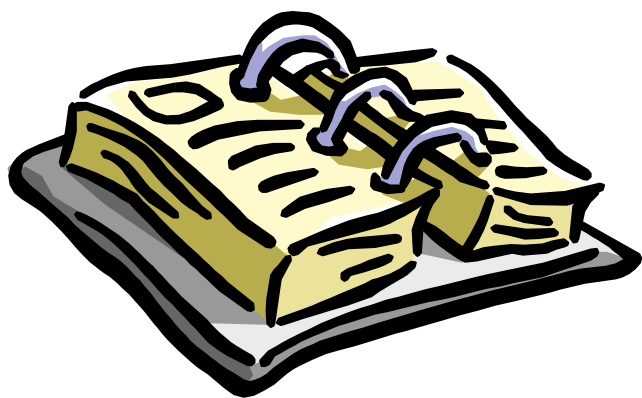
### ■ 設置の目的

流山市立博物館の前身である流山市郷土資料館は、流山市市制施行10周年記念事業のひとつで、市立図書館との複合施設として昭和53年6月1日に開館した。用地はかつて、葛飾県・印旛県の県庁が置かれていた流山市加の台地上である。流山市が首都30km圏内に位置し人口が急増する中で、急速に失われていく文化財や郷土資料を保存・展示するためである。それ以前には市史編さん室が文化財保護行政も担当しながら郷土資料室をもち、民具等資料の収蔵・展示も行っていた。郷土資料館はそれをさらに充実拡大するものであった。

### ■ 沿革

昭和42年	1月1日	流山市市制施行
昭和42年		教育委員会に市史編さん担当がおかれ、文化財保護行政も担当する
昭和49年		流山市の3か年実施計画に市立図書館の構想が盛り込まれる
昭和50年		実施計画のマスタープランに、図書館との複合施設として、郷土資料館が浮上、市制施行10周年記念事業に位置付けられる
昭和51年		市史編さん室設置
昭和52年	4月1日	流山市文化財保護条例施行
昭和52年		コレクター永井仁三郎氏により、資料寄贈の申し入れ
昭和52年	7月15日	郷土資料館開設準備室設置、文化財保護行政は準備室が担当
昭和53年	4月1日	「流山市郷土資料館」公の施設として設置 館長の下に庶務係と学芸係
昭和53年	6月1日	流山市郷土資料館開館 常設展「流山ーその風土と歴史」 「武士と町人ー永井コレクションより」のほか小企画展も開催し、以降毎年企画展を開催する
昭和54年	10月1日	設置条例を改正し、教育機関となる
昭和55年	3月1日	流山市郷土資料館協議会設置
昭和55年	3月20日	博物館法に基づく登録館となる
昭和55年	4月1日	文化財保護行政を社会教育課に移管
昭和56年	4月1日	流山市史編さん審議会条例施行
昭和57年	3月31日	流山市史近代資料編「八木村誌」を刊行し、以降市史資料編を刊行
昭和59年	4月1日	名称を「流山市立博物館」と改称する 教育委員会に部制がしかれ、社会教育部に所属する 機構改革により庶務係、学芸係が一本化されて管理係に、 市史編さん室が博物館に統合され、市史編さん係となる
昭和63年	9月3日	永井コレクションを中心にオーストラリア ブロードモドゥ市で「日本文化展」を開催 9月30日まで

- 昭和 63 年 10 月 15 日 企画展 武士と町人ー永井コレクションよりーを収蔵  
展に展示替え
- 平成 9 年 4 月 1 日 機構改革により社会教育部が生涯学習部となる
- 平成 12 年 12 月 22 日 リニューアル改修工事着手
- 平成 13 年 4 月 1 日 常設展を新たにし、第 2 展示室を設置してリニューアル  
オープン
- 平成 14 年 4 月 1 日 一茶双樹記念館及び社会教育ギャラリー（杜のアトリ  
エ黎明）が博物館の所管となる  
機構改革により管理係と学芸係となる





## ■ 施設概要

### 1 規模

建築面積	1,131.00 m <sup>2</sup>
延床面積	2階 720.00 m <sup>2</sup>
	3階 960.00 m <sup>2</sup>
<b>R階</b>	<b>72.00 m<sup>2</sup></b>
合計	1,752.00 m <sup>2</sup>
敷地面積	4,826.78 m <sup>2</sup>

(図書館敷地を含む)

### 2 構造

鉄筋コンクリート造り2階建  
(図書館と複合施設)

### 3 建物設計・監理

ザイマ・サトー建築設計事務所

### 4 建築工事

清水建設株式会社

着工 昭和52年7月26日

竣工 昭和53年3月20日

### 5 各室面積一覧

階	室名	延面積
2階	収蔵庫	384.0 m <sup>2</sup>
	荷解室	24.0 m <sup>2</sup>
	暗室及び印刷室	8.0 m <sup>2</sup>
	研究工作室	32.0 m <sup>2</sup>
	前室	24.0 m <sup>2</sup>
	事務室	48.0 m <sup>2</sup>
	応接室	27.0 m <sup>2</sup>
	整備・機械室	4.6 m <sup>2</sup>
	掃除物置及び管理室	11.6 m <sup>2</sup>
	男・女トイレ	20.0 m <sup>2</sup>
	階段室	12.0 m <sup>2</sup>
	廊下	56.8 m <sup>2</sup>
	展示コーナー	20.0 m <sup>2</sup>
	ホール	48.0 m <sup>2</sup>
小計	720.0 m <sup>2</sup>	
3階	展示室	916.0 m <sup>2</sup>
	第2展示室(展示室のうち)	(137.0 m <sup>2</sup> )
	階段室	32.0 m <sup>2</sup>
	ダクトスペース	12.0 m <sup>2</sup>
小計	960.0 m <sup>2</sup>	
R	機械室	72.0 m <sup>2</sup>
合計		1,752.0 m <sup>2</sup>

6 建物総工費 254,613千円  
内 訳

本体工事費	178,269,210円
電気工事費	28,500,000円
付帯工事費	
給排水工事費	12,606,000円
冷暖房工事費	28,064,000円
小 計	69,170,000円
その他	
事務費	6,613,000円
外構工事費	560,790円
小 計	7,173,790円
合 計	254,613,000円

7 資金内訳

国庫補助金	32,000,000円
県費補助金	32,000,000円
地 方 債	50,000,000円
一 般 財 源	140,613,000円
合 計	254,613,000円

8 展示設計・施工

日本エキジビション企画プロ  
ダクション

9 展示総事業費

4

6,250千円

10 収蔵庫増設費

19,600千円

11 リニューアル事業費

43,129千円

## ■ 設備概要

1 電気設備

- (1) 受電設備 3相3線 6,600V 50Hz
- (2) 変圧器 屋外用油入自冷式
- (3) 進相コンデンサー 3相 100KVA 2台
- (4) 予備電源(蓄電池) 12V 120AH

2 空調設備

- (1) 一般系統 冷温水機・空気調和機
- (2) 収蔵庫系統 空冷式空調機・24時間運転
- (3) 展示ケース系統 空冷式空調機・24時間運転

3 放送設備

- (1) 普通用・一般アナウンス
- (2) 非常用

5 防火設備

- (1) ハロン1301 消化設備(収蔵庫)
- (2) 自動火災報知設備
- (3) 屋内消火栓設備

4 昇降設備(収蔵庫～展示室)

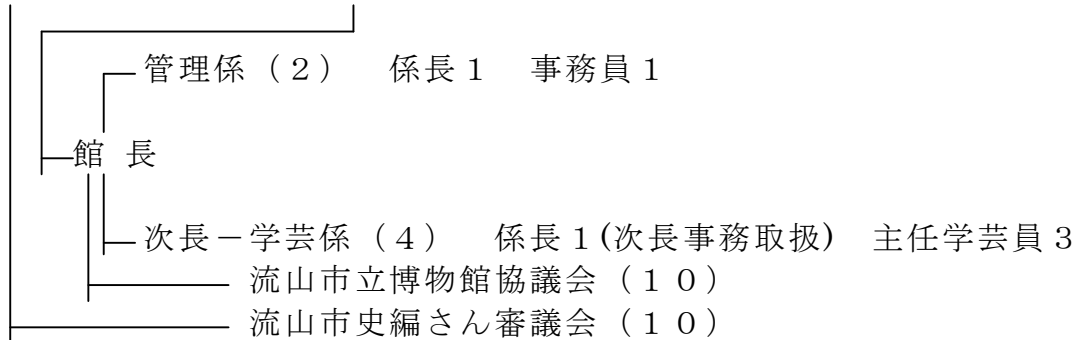
積載量 300kg  
かご 1m×1m×1.2m(H)

6 防犯設備

総合ガードシステム(委託)

## ■ 平成17年度博物館組織

教育委員会－教育長－生涯学習部長



## ■ 流山市立博物館協議会委員

任 期 平成16年5月18日から平成18年5月17日まで

(敬称略)

区 分	氏 名	役 職	備 考
学 校 教 育	村 田 一 二	流山市立江戸川台小学校長	副会長
	野 口 浩 樹	八木北小学校長	
	坂 口 茂 美	流山市立西初石中学校校長	
社 会 教 育	青 木 更 吉	流山市立博物館友の会	会 長
	柴 崎 寛 子	流山市美術家協会副会長	
学 識 経 験	下津谷 達 男	元国学院栃木短期大学教授	
	森 尚 登	県立総南博物館学芸課長	
	池 田 哲 朗		
	岩 崎 正 樹		
	折 戸 直 子		
	辻 野 弥 生		

※ 村田一二委員は、平成18年3月31日で退任  
野口浩樹委員は、平成18年4月28日に就任

## ■ 流山市史編さん審議会委員

任 期 平成15年7月12日から平成17年7月11日まで

(敬称略)

区 分	氏 名	役 職	備 考
第1号 選 出	家 山 和 夫	元教員・元社会教育指導員	副会長
	小 川 浩	昭和女子大学文学部講師	
	栗 山 秀 純	大正大学教授	会 長
	斎 藤 芳 子	元市職員	
	酒 井 文 英	広寿寺住職	
	下津谷 達 男	元国学院栃木短期大学教授	
	高 橋 一 元	元市職員・長流寺住職	
	中 川 建 三	元教員・元柏市社会教育指導員	
第2号 選 出	堀 部 昭 夫	千葉県立現代産業科学館副館長	
	松 本 好 夫	図書館長	

## ■ 職員（平成17年度）

館 長 : 鈴木 洋子  
 次 長 : 川根 正教  
 管理係 係 長 : 佐々木 則夫  
           事 務 員 : 吉田 文展  
 学芸係 係 長 : 川根次長事務取扱  
           主任学芸員 : 山下 耕一・増崎恵美子・遠山 仁恵

## ■ 臨時職員

一般事務（管理係） 1人  
 一般事務（一茶双樹記念館） 4人  
 資料調査員（学芸係） 2人  
 資料整理員（学芸係） 4人  
 企画展監視員（学芸係） 2人

## Ⅷ 一茶双樹記念館利用状況

### ■ 一茶双樹記念館入館者数

月	一般個人	一般団体	小中個人	小中団体	割引	免除	観覧者合計	施設使用者	入館者合計
4月	205人	15人	28人	人	人	111人	359人	267人	626人
5月	331人	61人	6人			356人	753人	60人	814人
6月	163人		5人			217人	385人	94人	479人
7月	125人	37人	3人			68人	233人	21人	254人
8月	165人		21人			55人	241人	20人	261人
9月	244人		3人			66人	333人	32人	345人
10月	227人	20人	1人			188人	436人	274人	710人
11月	227人	47人	7人			122人	403人	75人	478人
12月	142人		3人			57人	202人	96人	298人
1月	145人		3人			72人	220人	56人	276人
2月	104人		4人			67人	175人	10人	185人
3月	239人		2人			81人	322人	19人	341人
合計	2,317人	180人	86人	人	人	1,460人	4,043人	1,024人	5,067人

### ● 一茶双樹記念館

#### 使用申請からみた利用状況

月	使用目的				使用団体							使用施設			
	茶会	句会	その他	計	市内	市外				県外	計	一茶庵	双樹亭	両施設	計
						柏市	松戸市	我孫子市	その他						
4月	3	1	1	5	5						5	3		2	5
5月	1	3	1	5	5						5	4	1		5
6月	4	1	2	7	6				1		7	4	2	1	7
7月	2			2	2						2		2		2
8月			1	1	1						1	1			1
9月	2			2	2						2	2			2
10月	4		1	5	5						5	2		3	5
11月	2	2	1	5	5						5	3	1	1	5
12月			1	1	1						1	1			1
1月	4	1		5	5						5	5			5
2月			1	1	1						1	1			1
3月			2	2	2						2	2			2
合計	22	8	11	41	40				1		41	28	6	7	41

## Ⅸ 社のアトリエ黎明利用状況

### ■ 社のアトリエ黎明利用状況

月	作品展	行事	会議	その他	合計利用件数	利用日数	入館者合計
4月	2件	1件	2件	1件	6件	26日	345人
5月	4件		2件		6件	26日	509人
6月	4件	1件	2件		7件	26日	552人
7月	2件		2件	2件	6件	27日	157人
8月	3件	1件	1件		5件	26日	338人
9月	2件		2件		4件	26日	589人
10月	5件	1件	2件	1件	9件	26日	929人
11月	3件	1件	2件	2件	8件	26日	449人
12月	3件		2件		5件	24日	306人
1月	2件		2件		4件	24日	267人
2月	2件	1件	2件		5件	24日	204人
3月	2件		2件		4件	27日	344人
合計	34件	6件	23件	6件	69件	308日	4,989人

### ● 社のアトリエ黎明

#### 使用申請からみた利用状況

月	作品展			行事			会議			その他			合計		
	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計	市内	市外	計
4月										1		1	1		1
5月	1		1				4		4				5		5
6月	1		1										1		1
7月	3	1	4				3		3	1	1	2	7	2	9
8月															
9月							6		6				6		6
10月	1		1				1		1				2		2
11月	1	1	2							1		1	2	1	3
12月	1		1				2		2				3		3
1月	1		1				2		2				3		3
2月	3		3				2		2				5		5
3月							2		2				2		2
合計	12	2	14				22		22	3	1	4	37	3	40

## X 博物館友の会活動状況

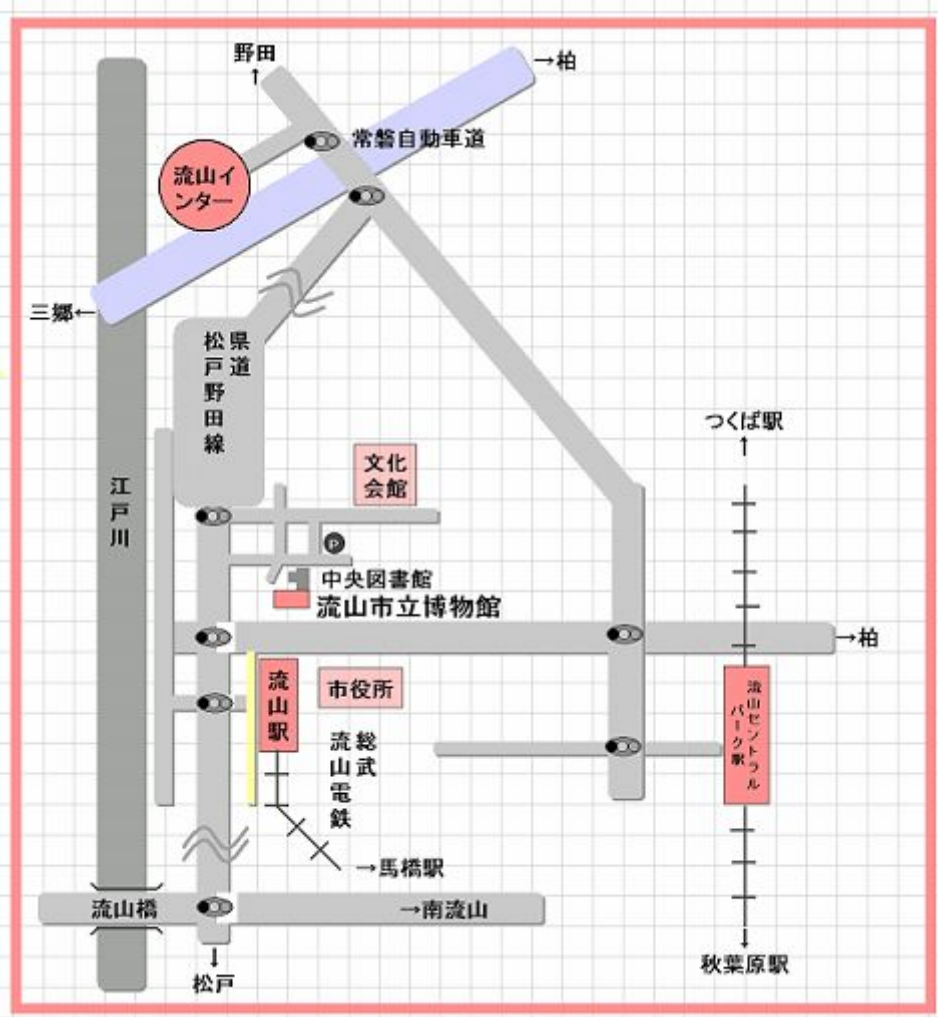
平成17年度の活動経過を報告いたします。前年に引続き文章、朗読、川柳の3講座は新会員をむかえてそれぞれ盛況で有ります。出版関係では「房総の博物館・美術館・資料館」を特集した東葛流山研究第24号が遅れましたが3月発刊されました。個人出版も盛んですがここでは省略いたします。特別企画ではつくばエクスプレス散歩や昨年から始まった、会員による東葛のミニ研究発表会も開催されました。

歴史散歩では越岡禮子さんの取手、守谷歴史散歩、青木更吉さんの野馬土手散歩、中村哲夫さんの千葉の建築探訪、青木、山本、相原さんによる東葛路上観察会など今年も盛会でした。また山本鉦太郎さんのアンコール奥の細道は2年目を迎え、一関から象潟までを達成しました。又7月には故上林康子さん、羽根田富子さんを偲ぶ会を、ゆかりの新川屋で開催、故人の業績をたたえました。その他恒例の納涼の夕べ、新年会、忘年会では新しい工夫を凝らし思い出深い一年となりました。

### ● 1年間の足跡 (毎月の文章、朗読、川柳の3講座は省略)

17.4.3	友の会役員会	
17.4.29	友の会総会 北野道彦賞・梧桐賞	柏フェニックスホテル
17.5.13~15	奥の細道の旅	講師 山本 鉦太郎
17.5.25	「におどり」第75号発刊	
17.6.5	取手・守谷歴史散歩	講師 青木・山本・相原
17.7.3	故上林さん、羽根田さんを偲ぶ会	新川屋
17.7.17	東葛地方の文学歴史研究会	講師 腰岡・長縄 辻野(弥)・仙道
17.9.25	千葉の建築探訪	講師 中村 哲夫
17.10.9	東葛路上観察会	講師 青木・山本・相原
17.10.10	「におどり」第76号発刊	
17.11.6	つくばエクスプレス散歩	講師 相原 正義
17.12.11	爆笑忘年会	小倉ホール
18.1.8	楽しい東京初詣散歩	講師 山本 鉦太郎
18.3.12	房総野馬土手散歩	講師 青木 更吉
18.3.20	「におどり」第77号発刊	
18.4.4	「東葛流山研究」第24号発刊	

# ご あ ん な い



- 交 通：〔電 車〕 J R馬橋駅又は新松戸駅より流山線に乗換  
流山駅下車 徒歩7分  
つくばエクスプレス流山セントラルパーク駅下車 徒歩20分  
〔バ ス〕京成バス・東武バス 文化会館入口下車  
〔自動車〕県道松戸野田線流山中央交番前
- 開館時間：午前9時30分から午後5時00分まで
- 休 館 日：毎週月曜日（国民の祝日が月曜日の場合はその翌日）  
毎月月末の日（但し、月末の日が土・日曜日の場合は除く）  
年末年始、その他臨時休館があります。
- 入 館 料：特別展を除き入館料は無料です。  
特別展（大人 210円、小人 100円）  
但し、団体など減免方法がありますので、お問い合わせください。



流山市立博物館

年 報            NO. 28            2006

平成18年 9月30日 発行

編集・発行    流山市立博物館

千葉県流山市加一丁目1225-6

TEL : 04-7159-3434

FAX : 04-7159-9998